



国宝・彦根城築城400年祭 基本構想

平成17年(2005年)10月
国宝・彦根城築城400年祭実行委員会

はじめに

古くから、交通や戦略上の要衝であった彦根の地は、様々な、時の有力者が治めていました。慶長5年(1600年)の関ヶ原の合戦で徳川家康率いる東軍が勝利すると、石田三成に替わり、徳川四天王の一人・井伊直政が佐和山城主となり、ここに彦根藩の基礎が築かれました。

直政は、関ヶ原の合戦で受けた鉄砲傷がもとで、慶長7年(1602年)に、この世を去りましたが、佐和山城に替わる新たな城郭の建設という彼の夢は、その息子・直継と直孝によって引き継がれ、幕府の全面的な協力のもと、慶長9年(1604年)から彦根城の築城が開始され、慶長12年(1607年)頃には天守が完成したとされています。

その後、一旦中断していた工事は、元和元年(1615年)大坂夏の陣の後、再開され、表御殿の造営、三重の濠と櫓、町割の整備、街道の整備が進められ、城下町を含む彦根城の基本的な形は元和8年(1622年)までには、ほぼ完成しました。

以来、彦根は江戸時代を通じ、徳川幕府の重責を担う、譜代筆頭・彦根藩井伊家の城下町として栄え、その居城であった彦根城は、その後も気高い雄姿を誇り続け、平成19年(2007年)には、彦根城築城400年を迎えます。

この記念すべき彦根城築城400年に、彦根城と城下町・彦根の歴史や文化を振り返り、それを貴重な財産として次世代に引き継ぐとともに、新たな飛躍・発展を目指して「再発見と新創造(Re Discovery & New-Creation)」を基本理念に『国宝・彦根城築城400年祭』を開催します。

事業の概要

| | |
|------------|--|
| 事業名 | 国宝・彦根城築城400年祭 |
| 主催 | 国宝・彦根城築城400年祭実行委員会 |
| 後援 (予定) | 国土交通省、文部科学省、(社)びわこビシターズビューロー、朝日新聞社、NHK、京都新聞社、共同通信社、KBS、産経新聞社、中日新聞社、BBC、毎日新聞社、読売新聞社、時事通信社、日本経済新聞社、エフエムひこね、エフエム滋賀、近江同盟新聞社、滋賀彦根新聞社、ZTV、ネットワーク滋賀、彦根タイムス社、彦根文化新聞社 |
| 開催期間 | 平成19年(2007年) 3月21日(水・祝) ~ 11月25日(日) |
| 会場 | 彦根城域一帯 および 中心市街地ほか市内全域 |
| 基本理念 | 「再発見と新創造」(Re Discovery & New-Creation) |

事業の基本的な考え方

【目的・趣旨】

1. 彦根城と城下町がたどった歴史や文化を振り返り、平成19年に国宝・彦根城築城400年を祝う。
2. 400年の歴史と伝統に培われた城下町・彦根ならではの文化を再認識し、次世代に継承する。
3. 市民の発意による「新たな彦根の文化・魅力」を創造する契機とする。
4. 400年の歴史の中で築いてきた関わりを基に、ゆかりの地域等との連携や国際交流を深める。

【事業の方向性】

【歴史・伝統・文化の再認識と発信】

城下町彦根の歴史や文化を次世代に継承するとともに、記念事業を実施することで彦根城の築城400年全国へ発信する。

【築城400年を契機とした彦根の発展】

さまざまな連携や国際交流、市民の発意による取り組みなどにより、新たな文化・魅力を創造する。

【基本理念】

「再発見と新創造」(Re Discovery & New-Creation)

【事業の基本方針と事業テーマ】

彦根城築城400年祭を全国に向けて発信する。

【祝祭事業】

400年の歴史を有する彦根の文化を再認識し、啓発する。【歴史・文化の発掘・啓発事業】

新たな文化・魅力の創出とホスピタリティの向上を図る。【新しい彦根の文化・魅力の創出事業】

国際交流や他の地域と連携・交流を促進し、広域的な取り組みを進める。【交流連携事業】

事業の基本構成

| 事業区分 | 概要 | テーマ別事業 | | | |
|---|---|--------------------|-----------------------------|--------------------------------|----------------------|
| <p>実行委員会 主催事業</p> <p>(シンボル事業)</p> | <p>実行委員会が新たに企画し、主催する事業 (市民公募イベント含む)</p> | <p>祝祭事業</p> | <p>歴史・文化の発掘 啓発事業</p> | <p>新しい彦根の文化 魅力の創出事業</p> | <p>交流連携事業</p> |
| <p>協賛事業</p> <p>事業主体 地域団体、 民間団体、 民間企業等</p> | <p>各団体が、国宝・彦根城築城400年祭に協賛して開催する事業および既存事業に冠をつけて開催する事業 【冠事業】</p> <p>各団体等が、国宝・彦根城築城400年祭を契機に新たに開催する事業で、内容により実行委員会が支援する事業 【支援事業】</p> <p>企業等が主催する事業および他の自治体等と連携して広域的に取り組む事業 【共催・後援事業】</p> | | | | |

事業展開スケジュール

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|----|----|---|-----|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|--|
| H18 | | | | H19 | | | | | | | | | | | |
| 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | |

国宝・彦根城築城400年祭

プレイベント

オープニング
イベント

シーズン
イベント(春)

シーズン
イベント(夏)

シーズン
イベント(秋)

ファイナル
イベント

祝祭事業

歴史・文化の発掘・啓発事業

新しい彦根の文化・魅力の創出事業

交流連携事業

広報宣伝・各種プロモーション展開

冠事業

支援事業

共催・後援事業

実行委員会主催事業

協賛事業

国宝・彦根城築城400年祭【プレイベント】(事業案)

1 彦根の歴史を学ぶ事業

趣 旨：彦根の歴史をテーマとした講演会等を開催し、築城400年祭に向けた気運を盛り上げる。

開催時期：平成18年秋～

会 場：彦根城および周辺

概 要： 大人の学校「夜楽」、「野楽」の開催（彦根の歴史をテーマに食事をしながらの講演会
彦根カルタの場所めぐり等フィールドワークも行う。
彦根城築城以前から明治維新までの彦根の歴史を学ぶ講座を開催

【テーマ例】

- ・中世の彦根（鎌倉時代～戦国時代）
- ・徳川四天王（戦国時代～江戸初期）
- ・築城の夢（直政・直継・直孝の時代）
- ・徳川幕府と井伊家（江戸時代）
- ・井伊直弼の功績（幕末） 等

2 ウォーキングイベント

趣 旨：彦根の歴史を学ぶため、市内に点在する城郭や朝鮮通信使の足跡を訪ねるウォーキングイベントを開催する。

開催時期：平成18年10月頃

会 場：彦根市内および周辺市町

概 要： 中世～近世の城郭コース
（現地での見学会も実施）

JR稲枝駅～肥田城跡～山崎城跡～
佐和山城跡～彦根城～JR彦根駅
朝鮮通信使の足跡コース
JR近江八幡駅～朝鮮人街道～宗安寺～彦根城～JR彦根駅

3 「キレイ HIKONE」キャンペーン事業

趣 旨：築城400年を契機にまちを美しくし、マナーアップによる快適さを市民全員で築き上げる。

実施時期：平成18年～

概 要：自治会・団体・企業のクリーン作戦。城内など誇れる場所で重点実施。継続性を重視し重点地域を当番実施。

国宝・彦根城築城400年祭 主催事業【祝祭事業】(事業案)

- 1 オープニングイベント
趣 旨：全国に向け、彦根城築城400年祭の開催を発信する。
開催時期：平成19年3月
会 場：彦根城内
概 要： オープニングセレモニー：開催宣言
アトラクション：彦根鉄砲隊演武 等
- 2 築城400年祭記念コンサート
趣 旨：彦根城築城400年を記念し、彦根らしい情緒あふれるコンサートを開催する。
開催時期：平成19年春～秋
会 場：彦根城および周辺
概 要：彦根にゆかりの音楽家、東儀秀樹、大学生等によるコンサート
- 3 仮施設による事業
趣 旨：期間中を通して、彦根の魅力を紹介する拠点を設置し、城と街との回遊性を高める。
開催時期：平成19年3月～11月
会 場：彦根城周辺
概 要：ステージイベントや彦根で撮影された映像作品の上映、彦根の歴史紹介等を行う。
- 4 夜のライトアップ ～ルミナリエ in 彦根城
趣 旨：石垣等を利用し、幻想的な空間を演出することで、昼とは違った彦根城の魅力を紹介する。築城400年祭のクロージングに繋げるイベントとして実施。
開催時期：平成19年11月頃
会 場：彦根城および周辺
概 要：城内(石垣等)を活用し、キャンドルやライトアップを行う。
- 5 クロージングイベント(ファイナルイベント)
趣 旨：クロージング飾るイベントを行い、彦根城築城400年祭を締めくくる。
開催時期：平成19年11月
会 場：彦根城および周辺
概 要：一年間の事業の総括展示、写真展、セレモニー等

国宝・彦根城築城400年祭 主催事業【歴史・文化の発掘・啓発事業】(事業案)

- 1 楽々園等歴史建造物の修復早期化事業
趣 旨：楽々園をはじめとする歴史的建造物や石垣の整備・修復の早期化を目指す。
事業期間：平成19年～
概 要：(仮称)歴史建造物修復基金を創設し、市民や全国から寄付を募るとともに、関係省庁等に楽々園等の修復の早期化を働きかける。
- 2 天秤櫓特別展および櫓の特別公開
趣 旨：築城400年を記念し、通常未公開の櫓の内部を一般に公開する。
開催時期：平成19年3月～11月
会 場：天秤櫓、西の丸三重櫓、馬屋
概 要：天秤櫓での大河ドラマ展や彦根の歴史に関する特別展
西の丸三重櫓、馬屋の一般公開
- 3 まちなか博物館事業
趣 旨：彦根の歴史・文化的な「タカラモノ」を発掘し、城内および市内で展示を行う。展示関連商品を企画販売を行い経済活性化につなげる。
開催時期：平成18年10月(プレ期間)～平成19年11月
会 場：彦根城内および市内(中心市街地等)
概 要：彦根カロム、引き札(明治のチラシ)、高橋コレクション、馬ぐるま等の展示

国宝・彦根城築城400年祭 主催事業【新しい彦根の文化・魅力の創出事業】(事業案)

1 花暦新創出事業

彦根城「四季の花咲く広場」整備事業

趣 旨：城内外に群生している四季の花木をクローズアップし、来訪者が回遊できるルートをつくる。また、城跡景観の向上と花を通して文化財にふれあえる広場の整備や公園等への植栽を行う。

事業期間：平成19年～

(四季の花咲く広場は平成18年度～)

会 場：彦根城跡内および市内公園等

概 要： 四季の花木(桜、沙羅双樹、ケヤキ、花しょうぶ、蓮、もみじ等)をクローズアップした新たな回遊ルートを提案する。
城内の「文化財保存用地」を活用し、四季折々の花を植栽する。

2 歴史文化都市彦根の研究と発信事業

(彦根ブランド創出事業)

趣 旨：築城400年を契機に「地域ブランド」を創出する。

開催時期：平成19年3月～

概 要：個人や企業が有する優れた技術や伝統工芸品、農林水産物、加工食品、役務サービスなどを「彦根ブランド」として、認証・商標登録を行い、月刊誌などで全国発信する。

彦根ブランドの企画および商品開発

彦根発信の雑誌および書籍の発刊

国宝・彦根城築城400年祭 主催事業【交流連携事業】(事業案)

1 開国サミット

趣 旨：井伊直弼が決断した「日米修好通商条約」の調印を記念し、条約締結によって港が開かれた横浜や函館等の都市との交流連携を図る。

事業期間：平成19年6月19日の前後

会 場：彦根城、文化プラザ、中心市街地等

概 要：シンポジウム、講演会、観光物産展等の開催

2 日韓交流フェスタ

趣 旨：第1回朝鮮通信使から400年を記念し、彦根で開催予定の朝鮮通信使ゆかりの町全国大会に併せて、事業を展開し、日韓の交流連携を図る。

開催時期：平成19年秋頃～

会 場：彦根城、文化プラザ、市内（朝鮮人街道周辺）

概 要：朝鮮通信使行列や韓国物産展の開催